

一般財団法人北栄スポーツクラブ 指定管理業務評価表(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

業務名	実施概要	成果と課題(自己評価) * 記載できるものは客観的な数字も合わせて記載(改善できたことは前年度と今年度の比較、毎年度事業は各年度など。必要なら別紙添付。)	自己評価 A～E	講 評 * 北栄町公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例 第6条関係	総合評価 A～E
《管理・運営に関すること》					
◎施設の維持管理(修繕等)に関すること	指定管理施設の管理業務	・大栄野球場スコアボード基板修理、大栄体育館のガラス破損など不備に対して迅速に対応した。	C	第6条第2号(効用、経費)、第3号(人的能力) 適切に管理を行っている。 軽微な修繕は、職員で対応し、経費削減、適切な管理に努めている。	C
◎日常点検、保守、巡視に関すること	指定管理施設の管理業務	・管理施設を定期的、あるいは台風、大雪、など自然災害発生時直後に巡回し、施設の不備を発見した場合は迅速に対応することにより、すべての利用者が安全にスポーツ活動を行うことが出来た。	C	第6条第2号(効用、経費)、第3号(人的能力) 定期点検等適切に管理を行っており、点検報告も行っている。	C
◎防火管理に関すること	別添の「消防(防災)計画」を参照	・定期点検業務を行い、不備等があった場合は迅速に対応し、防火に努めた。	C	第6条第2号(効用、経費)、第3号(人的能力) 専門業者による定期的な点検、管理が行われている。	C
◎運営・利用許可等に関すること	利用者窓口受け付け業務	・管理施設の利用受付を迅速かつ正確に行うため、タブレットによる一括管理とし、午前9時から午後10時まで(休館日を除く)の予約のバッティング防止に努めるとともに、公平かつ平等に行った。希望施設に空きがない場合は使用用途に応じて別の施設を案内するなど臨機応変に対応し、施設の適正かつ合理的な利用に努めた。またキャッシュレス決済サービスやほくほくカードを導入し、お客様の利便性や事務の簡素化に努めた。	C	第6条第1号(平等利用)、第2号(効用、経費)、第3号(人的能力) タブレットで一括管理し、管理運営の効率化、申込者バッティングの防止に努めていた。キャッシュレス決済を継続し利便性を維持した。今後は鍵等の管理も含めて利用者の利便性を向上させる取り組みを実施してほしい。	C
◎利用者への対応(案内、苦情等)に関すること	利用者からの問い合わせ、苦情等の未然防止と対応方法	・利用者へ丁寧な言葉遣い、気持ち良いあいさつ、笑顔など「おもてなし」のころをもって接し、問い合わせ等には丁寧に対応した。またクレームやご指摘、要望等に対しスタッフ間で共有し再発防止に努めた。それは、利用者の率直な意見や提言で有り、体育施設やスタッフに対する改善への期待であると理解し、利用者の信頼を得るべく対応をした。また要望等に対し、改善可能なものについては可能な限り努力し改善した。	C	第6条第1号(平等利用)、第3号(人的能力) 適正な対応ができている。来客対応についてもシルバー人材センターと情報を共有し、丁寧かつ迅速な対応を引継ぎ実施すること	C
◎経理に関すること	公益法人会計に基づき処理	・実施事業、その他、法人の会計毎に適正な処理に努めた。また指摘のあった職員退職積立金の処理方法について、監査員等に相談しながら適正な会計処理に努めていきたい。	C	第6条第2号(効用、経費) 会計処理や関係諸帳簿が適切かどうか確認しながら処理することや、経費削減の取り組みについては、引き続き実施すること。	C
《委託事業に関すること》					
◎学校体育施設の利用受付	北条、大栄小・中学校4校の受付業務	・学校と事前に何か月か先の予定について台帳で確認をしている。また学校体育施設利用の問い合わせがあった際はその都度学校に予定を確認し迅速に対応した。ただ毎回の事だが教頭先生の不在時や火、土、日曜日、祝日などは確認が取れないため、受付業務に時間がかかったことがあった。(お客様にはそのことを了承していただいた上で学校に確認)	C	第6条第1号(平等利用)、第2号(効用、経費)、第3号(人的能力) 適切に業務を行っている。	C

業務名	実施概要	成果と課題(自己評価) ＊ 記載できるものは客観的な数字も合わせて記載(改善できたことは前年度と今年度の比較、毎年度事業は各年度など。必要なら別紙添付。)	自己 評価 A～E	講 評 ＊ 北栄町公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例 第6条関係	総合 評価 A～E
《補助事業に関すること》					
◎スポーツ少年団	7団が登録	・北条剣道、野球、バレーボール、ミニバスケットボール、バドミントン、大栄バレーボール、野球に117名が登録し、郡・中部・県の交流会に積極的に参加した。その中で大栄バレーボールが県大会で優勝し、全国大会に出場した。子どもたちの心身の健康のため、活動機会を提供することが出来た。	C	第6条第1号(平等利用)、第2号(効用、経費) スポーツ少年団の事務局として、少年団の活動を適切に支援している。今後も子どもたちの活動機会を可能な限り提供できるよう努めること。	B
◎元旦マラソン&ウオーキング大会	1キロと3キロのコースをランニングやウオーキングし、今年1年の健康づくりのスタートを切る	・『1年の計は元旦にあり』年始めのイベントとして定着しており、過去2番目に多いで513名の参加があった。開催方法も福引抽選会も通常通り行い、参加者は大変楽しんでた。今後も広く町民に告知し、スポーツ推進委員と協力しながらこの事業を継続していきたい。	C	第6条第2号(効用、経費) 元旦という日程ではあるが適正な対応ができた。年初めに相応しいイベントとして今後もやり方を検討すること	B
◎北栄町駅伝競走大会	おだいば公園内を周回する6区間にわたりタスキリレーをする	・前年より4チームも多い30チームの参加があり、小学生から一般まで世代を超えたチーム作りがなされ異世代交流ができた。お台場公園周辺周回コースも定着し、中継点が同じなので運営面でのメリットと各チーム役員の負担面のメリットがあり、参加チームからの評判も良かった。令和7年の町制20周年に向けて、コース設定等関係者と協議していきたい。	C	第6条第1号(平等利用)、第2号(効用、経費) 参加者が増加したが、コースをうまく活用し、ランナーにも楽しんでただけの内容となった。自治会放送依頼も含め、今後もランナー目線や地元応援者の目線で検討していくこと。	C
◎各種町民大会	自治会の団結力を高め親睦を図る (参加人数別添資料)	・各競技団体と各自治会が参加しやすい方法を協議しながら、全ての大会を開催した。その結果前年より多くの参加があった。今後も要項やルール等の見直しにより一層参加数が増加するよう方策を考えていきたい。	C	第6条第1号(平等利用)、第2号(効用、経費) 町民が楽しめるよう適切に大会を実施できていた。しかし、ケガの報告や対応については町に確認を行うこと。スポーツ保険の加入も含め、安心した大会となるよう検討すること。	D
◎米島間駅伝競走大会	中継所役員としてスポーツクラブ職員、会員が担当	・時代とともに駅伝開催のあり方も変化してきたことにより、主催者が大会開催について今後は難しいと判断し、第75回の長い歴史にピリオドが打たれた。	—	第6条第2号(効用、経費)	-
◎中部駅伝競走大会	お台場中継所、海洋センター中継所役員をスポーツクラブ職員、会員が担当	・コースも例年通りに戻り開催された。北栄町からは1チームが参加し、市町の部で5位の成績を収めた。また後尾車の運転業務や2つある中継所の業務もクラブ会員と協力し、滞りなく務めることができた。	C	第6条第2号(効用、経費) 適正な対応ができていた。	C
◎県民スポーツ・レクリエーション祭	選手の派遣	・チャンピオンスポーツの部の参加申込とレクリエーションスポーツの部の参加促進に努めた。	C	第6条第2号(効用、経費) 参加の取りまとめ、申込を適切に行った。	C
◎東伯郡民スポーツ・レクリエーション祭	選手の派遣	・今年度は三朝町を主会場に開催され650人の選手を派遣した。男女別の総合得点表彰も廃止され、競うスポーツから楽しむスポーツ(交流)へ移行するとともに、近年の夏の猛暑により開催時期も含め、郡民スポレクそのもののあり方を見直す必要があると思われる。	C	第6条第2号(効用、経費) 郡内各町担当者と連携ながら、適切に運営を行った。郡民スポレクのあり方について、さまざま意見を取り入れながら、担当者会等で検討をしていくこと。	C
自己評価総括				総合評価	総合評価
北栄町社会体育施設及び北栄町B&G海洋センターの管理に係る目的に対する貢献度について		・北栄町民のスポーツ振興を町やスポーツ推進委員協議会と連携をとり、事業展開した。 ①「運動習慣の定着」、「心の健康づくり」、「生活習慣病の予防」などの推進を図るため、町と連携して運動教室を企画・実施するとともに、スポーツクラブ独自でも幅広い年齢層に対応した運動教室を実施した。ここ数年要介護認定率は右下がり推移しており、県下でも最も低い認定率となっているのはこの取り組みも関係していると考えられる。 ②各自治会の活性化が町の活性化につながるという考えのもと、自治会対抗の各種スポーツ大会の全種目が全町挙げて行われるようになった。ここ数年はコロナの影響で大会を中止や縮小するなどしていたがコロナが5類に移行されたことにより、以前のような活気を取り戻し多くの運動機会を町民に提供することができた。スポーツグランプリ表彰の導入が、各自治会のやる気となり、町の活性化や地域交流につながった。 ③クラブ会員数は年々増加していたが平成29年度の1279人をピークに少子化の影響もあり減少傾向となっており令和5年度は1213人となった。しかし今まであまりスポーツクラブに加入していなかった中学生が部活動の地域移行等もあり、陸上、水泳、軟式野球、バレーボール、バドミントン、卓球など活動機会、場所を求めて入会者が増加しており今後増加傾向になると推測される。今後益々部活動の地域移行が推進されていく予定であり、スポーツクラブも協力していきたい。 ④指定管理施設の利用人数はここ数年コロナや施設の閉鎖等の影響により減少していたが、コロナが5類に移行したこともあり、昨年から増加傾向となり今年度は16万7千人あまりの方にご利用いただき、以前の状況に戻ってきた。その中でも海洋センタープールにおいてはバイオマスボイラーの導入により温水化となり、開館期間が2ヶ月ほど延長され利用人数増につながった。体育施設の老朽化に伴い施設の閉鎖や修繕、電気(LED化等)多くの問題を抱えているがこれからもより良い施設管理に努めたい。 ・今後も町民一人一人がスポーツ・運動を習慣化し、自分の健康は自分で守るの考えのもと自らの健康管理をするためにニーズにあった様々な運動プログラムの提供や安心安全に使用できるよう施設管理・運営に努めたい。	C	(評価数)A:0 B:2 C:11 D:1 E:0 施設管理については、概ね適切に実施されている。 スポーツの推進については、スポーツ推進委員や各競技団体と連携しながら実施できていた。総合型地域スポーツクラブとして、会員数も令和4年度比較で2人減となったが、子どもから大人までの幅広い年代が、様々な種目を体験できる事業を継続的に展開するなど、社会体育施設の設置目的であるスポーツ振興がさらに図られることが期待される。 また、中学校部活動の地域移行へ動きが加速する中、総合型地域スポーツクラブとしての役割が大きく期待される。今後も町と一緒に検討を進めながら、実現可能な形を模索していったほしい。 会計処理については、昨年度監査からも指摘あったとおり、今後もその処理が適切かどうか確認を行いながら実施すること。 本評価表についても、実績報告時に併せて提出していただきたい。	C

《添付資料》

- 令和4年度事業報告書
- 令和4年度年間行事予定表
- 各種大会結果表
- 指定管理施設の利用状況

評価の観点
A 期待される水準を大幅に達成できた
B 期待される水準をいくらか超えて達成
C 期待される水準どおり達成できた
D 期待される水準を一部達成できなかった
E 期待される水準が達成できなかった

--

【参考】一般財団法人北栄スポーツクラブ 自主事業実績表(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

業務名	実施概要	成果と課題 ＊ 記載できるものは客観的な数字も合わせて記載(改善できたことは前年度と今年度の比較、毎年度事業は各年度など。必要なら別紙添付。)
≪自主事業に関すること≫		
北栄スポーツクラブ各種団体育成事業	各部が自主的に活動が出来るよう指導	・これまでと同様に水泳部、野球部、陸上部、ゴルフ部、剣道部は、自主的に大会、教室を企画し実施した。加えて卓球部やバドミントン部も小学生から大人までが一緒に自主的に活動を行っている。バレーボールやバスケットボールなども部活動の地域移行を見据えて新たなクラブを立ち上げている。その他の団体に対しても引き続き教室・大会等の実施を呼びかけていきたい。
クラブハウスの開放事業	海洋センターをクラブハウスとして開放	・スポーツクラブ員をはじめ、子どもから高齢者まで気軽に立ち寄ってもらえる様な施設を目指し、ロビーにB＆G図書館やキッズスペースのほかテレビ設置している。その結果憩いのスペースとなっている。しかし、ロビースペースにはエアコンがなく、夏と冬は過ごしにくくなっている。
スポーツ安全保険の加入奨励事務	保険加入の呼びかけ、保険手続き業務	・スポーツ安全保険の加入を呼びかけジュニアの部については、100%の加入があり、一般の部においても加入促進に努めた。また傷害等が起こった時には迅速に対応し、保険手続きを滞りなく行った。
クラブ指導者の養成研修	スポーツクラブ指導者を対象とした研修の実施	・昨年に続き北栄町出身で読売ジャイアンツトレーナーの岩垣光洋さんを招聘し、指導者をはじめクラブ会員へ呼びかけ資質向上を目的に実施した。33名の参加者はプロのトレーナーから専門的なトレーニング等を教わり有意義な時間となった。
クラブマネジャーの養成	各部のリーダー養成(現在活動中のクラブ 46団体)	・現在活動している部を始め、新たな団体等のリーダー養成を行い日常の活動が円滑に出来るようアドバイスをしているほか、クラブの立ち上げなどの相談に乗っている。中学校部活動の地域移行は当面の課題であり、指導者の発掘、育成、お金等問題は山積している。
健康運動教室	海洋センターで毎週月・木曜日、大栄体育館で毎週金曜日に高齢者を対象とした運動教室を実施した。	・加齢による体力減退、体調不良、各運動機能の低下にストップを掛け、健康増進、アンチエイジング、要介護予防を目的に143人もの参加があった。
バランスボール＆フィットネス教室	毎月第1・第3土曜日に主に20代から50代を対象とした運動教室を実施した。	・普段仕事や家事等で運動をする機会が少ない方に体力・筋力向上と運動習慣の定着を目的に15人の参加があった。特に子育て中の女性の方や平日仕事の方が参加することが出来、運動機会を提供することが出来た。
ニュースポーツの普及と各種教室等の開催	水泳、アクアビック、ランニング、バドミントン、スキー、パットゲームスター、ヨガを実施した。	・広く町民に呼びかけ、小学生から大人までニュースポーツ等を提供することが出来た。夏休みの水泳教室は毎年人気があり、水泳技術の向上のほか水辺の安全教室等を行い、子どもたちに安全で楽しく水に親しむことを教えている。また参加者の要望に応え、昨年に続きアクアビック教室や女性に大人気のヨガ教室を企画し好評を得た。今後も町民のニーズにあった種目を取り入れていきたい。
自然体験セミナーin 隠岐	町内小学生を対象とした隠岐郡西ノ島町での自然体験活動の実施。	・異年齢の子どもたちが隠岐の島で集団宿泊体験や自然体験を通して、生きる力や自然を大切にすることなど様々なことを学んでもらうことを目的に行っており、定員を超える参加申し込みがあった中、31人の参加で4年ぶりに開催した。
北栄BG塾	町内外小学3年生から6年生を対象に夏休みの5日間BGでの体験活動を実施した。	・夏休みを利用し、学習、アリーナ・プールでの運動、創作活動などに加え野外活動として鳥取市B＆G海洋センターでカヌー体験を行うなどたくさんのプログラムを子どもたちに提供することが出来た。学習面においては教育委員会と協力し、サマースクールに参加するなど充実した活動を行ことが出来た。。
その他自主事業 (新規事業等)	アクティブチャイルドプログラム	・なわとびや鬼ごっこ等の昔遊びを取り入れ、遊び感覚で子供たちの運動習慣の定着を図ることを目的に放課後児童クラブ等で指導を行っている。
≪協働事業に関すること≫		
北栄町健康づくり事業	北栄町健康推進課とタイアップし運動教室の協力及び指導に取り組んだ。	・健康計画推進委員として、町民の健康に関する助言を行うほか、運動教室の指導、企画立案などを行い、運動を継続・習慣化に協力することが出来た。
≪総括≫		
自主事業総括		・スポーツクラブ会員やスポーツ推進員などの協力を得ながら各事業に積極的に取り組んだ。全ては会員や町民のためであり、生涯を通じて豊かで活力ある生活を営むため、生涯スポーツ社会の創出と定着の推進を図ることを目的に行っているものであり、年々浸透してきている。より一層スポーツクラブのことを多くの方に認知してもらえよう町内外にアピールしていきたい。